

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：2月レポート

稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 首席研究員）
野村亮輔（研究推進部）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail:nomura-r@apir.or.jp

ポイント

● 2月都道府県別訪日外客数と訪問率の早期推計*

▶ 2月の関西 2府 8県別に訪日外客数(推計値)をみると

(表 1 及び図 1 参照)、福井県 1,691 人(前年同月比-67.6%)、三重県 7,421 人(同-53.3%)、滋賀県 6,466 人(同-60.6%)、京都府 28 万 3,118 人(同-54.7%)、大阪府 41 万 1,531 人(同-55.8%)、兵庫県 5 万 8,021 人(同-60.8%)、奈良県 14 万 5,024 人(同-36.1%)、和歌山県 9,880 人(同-56.0%)、鳥取県 3,994 人(同-66.3%)、徳島県 2,391 人(同-58.0%)となった。これまでインバウンド需要が堅調だった京都府や大阪府でも大幅減少となった。

▶ 1月を運輸局別にみると(表 1 及び図 1 参照)、北海道 9 万 6,273 人、関東 52 万 9,611 人、中部 15 万 5,407 人、近畿 43 万 9,947 人、九州 10 万 513 人となった。

▶ 2月の訪問率(推計値)を関西 2府 8県別にみると(表 2 及び図 6 参照)、福井県 0.2%、三重県 0.7%、滋賀県 0.6%、京都府 26.1%、大阪府 37.9%、兵庫県 5.4%、奈良県 13.4%、和歌山県 0.9%、鳥取県 0.4%、徳島県 0.2%となった。前月から訪問率が上昇したのは滋賀県、兵庫県、鳥取県、一方低下したのは三重県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、徳島県であった。なお、福井県は横ばい。

● 2月発表データのレビュー

▶ JNTO 訪日外客数推計値(表 3 参照)によれば、2月総数は 108 万 5,100 人と前年同月比-58.3%大幅減少し、5 カ月連続のマイナス。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各国で海外旅行を控える動きがみられるようである。

▶ 国・地域別にトップ 5 をみると、台湾が 22 万 400 人(前年同月比-44.9%)と最多であった。次いで、韓国が 14 万 3,900 人(同-79.9%)、香港が 11 万 5,600 人(同-35.5%)、タイが 9 万 8,000 人(同-9.1%)、中国が 8 万 7,200 人(同-87.9%)と続く。

▶ 伸び率をみると中国は 17 カ月ぶり、台湾は 7 カ月ぶり、香港は 6 カ月ぶり、韓国は 8 カ月連続のマイナス。特に中国は 2003 年 5 月以来の減少幅(前年同月比-69.9%)となった。東アジアを中心に新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく表れ、来月以降も更なる大幅減少が予想されていることから、今後の動向には一層の注意が必要である。

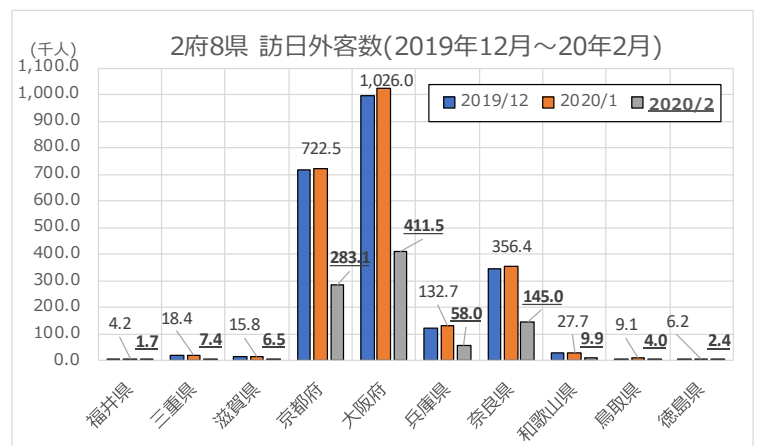
表 1 都道府県別訪日外客数の早期推計

■府県ベース	訪日外客数			単位:人	
	2019/12	2020/1	2020/2	19Q3	19Q4
福井県	4,144	4,200	1,691	17,160	13,092
三重県	17,989	18,390	7,421	68,639	55,366
滋賀県	15,803	15,779	6,466	60,059	49,293
京都府	718,189	722,470	283,118	2,565,365	2,167,355
大阪府	998,548	1,025,973	411,531	3,500,565	2,996,582
兵庫県	120,083	132,749	58,021	480,470	363,961
奈良県	347,628	356,350	145,024	1,184,015	1,040,748
和歌山県	29,154	27,734	9,880	94,378	84,974
鳥取県	8,313	9,115	3,994	34,319	25,588
徳島県	6,389	6,244	2,391	25,739	20,206

■運輸局ベース	訪日外客数			単位:人	
	2019/12	2020/1	2020/2	19Q3	19Q4
北海道	188,915	213,732	96,273	652,066	582,838
関東	1,290,869	1,317,317	529,611	4,573,042	3,919,966
中部	382,662	390,614	155,407	1,312,712	1,154,912
近畿	1,070,124	1,099,067	439,947	3,740,800	3,202,489
九州	189,159	217,926	100,513	729,284	561,206

注:全目的(観光・レジャー目的以外も含む)の訪問率をもとに訪日外客数を推計している。なお、地方単位(運輸局ベース)で推計される訪問率と訪問者数は、地方内の複数訪問を 1 回とカウントしているため、都道府県の訪問者数を単純に合算した値とは異なることに注意。シャドウは実績値。

図 1 都道府県別訪日外客数の早期推計



注:数値は最新月の予測値。

* 早期推計は以下の手順で行われている。まず、四半期ベースの都道府県訪問率を月次化し、それを用いて時系列モデルを推計、その 6 カ月予測を行う。これに訪日外客数(JNTO)を乗じて、月次ベースの訪日外客数を推計している。訪問率の実績値が発表されるまでは、このルーティンが繰り返される。本手法は当研究所の日本経済月次予測で用いている超短期予測のアイデアを応用しており、詳細な推計方法については Trend Watch No.54(2019 年 5 月)参照のこと。

トピックス

● 2月関西国際空港：訪日外客数の動向

▶ 2月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は、22万9,220人で前年同月比-66.0%と2カ月ぶりの大幅マイナスとなった(図2参照)。減少幅は東日本大震災の影響を受けた2011年4月の同-57.6%、台風21・24号による被害で関空が一時閉鎖した18年9月の同-45.7%よりも大きい。なお、3月は更なる減便・運休が予定されていることから、訪日外客の大幅減少が予想されている。

● 経済ショックからの回復の比較

▶ 関西2月の輸出額は前年同月比+0.8%小幅増加し、5カ月ぶりのプラス。輸入額は同-17.6%減少し、5カ月連続のマイナスとなった(図3参照)。結果、関西の貿易収支は2カ月ぶりの黒字となったが、貿易(輸出入合計)は昨年9月を除けば前年比14カ月連続で縮小している。

▶ 地域別の貿易動向をみると(図4参照)、その理由が分かる。関西2月の対中輸出額は前年同月比+0.5%小幅増加し5カ月ぶりのプラス。対中輸入額は同-55.6%大幅減少し5カ月連続のマイナス。新型コロナウイルス感染拡大による中国の生産停止により輸入が大幅に減少した一方で、輸出にはその影響がまだ表れていないことによる。

▶ 2月の関空への訪日外客数は前年同月比-66.0%大幅減少した。2019年の関西での外国人消費額は1兆610億円と推計(APIR)されることから、2月のインバウンド需要の損失額は583.9億円(=10610/12×0.66)と推計される。

▶ 関空入国者数の伸びをリーマンショック期、東日本大震災期と今回の新型コロナウイルスの3つの時期を比較すると(図5参照)、今回の落ち込みが最も大きい。各経済ショック発生月の翌月に減少幅が拡大する傾向が見られる。その後、再び訪日外客がプラスとなるまでリーマンショック期で15カ月、東日本大震災期で10カ月を要している。

▶ 2月はサプライチェーン寸断の影響がまず輸入に表れたが、3月以降はその影響で輸出入ともに大幅に減少することが予想される。3月の訪日外客数も前年比-80%程度の大減少が予想される。Trend Watch No.59において、新型コロナウイルス感染終息パターンによる被害総額を予測した。当面の間、本欄では毎月、関西への訪日外客数と輸出の実績を更新しながら、新型コロナウイルスによる被害推計を更新する。

図2 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:KANSAI 空港レビュー及び大阪入国管理局関西空港支局より筆者作成。
2020年2月値は速報値。

図3 関西 対世界貿易の推移

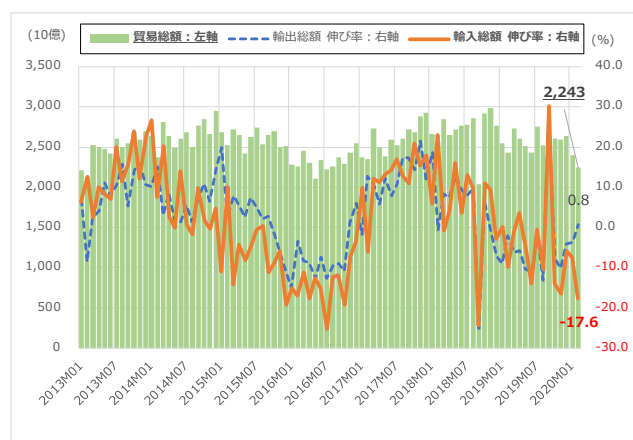
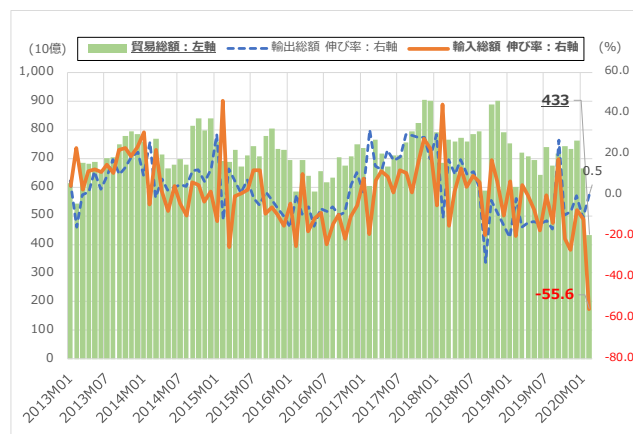


図4 関西 対中貿易の推移



出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図5 経済ショックからの回復の比較

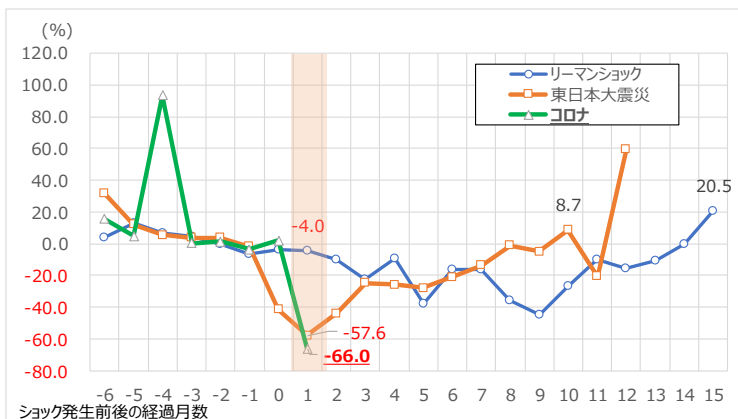
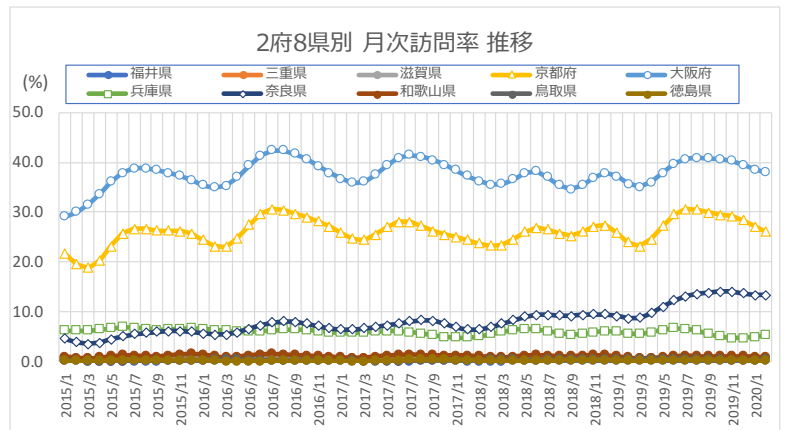


表2 月次訪問率の早期推計

訪問率	単位:%				
■府県ベース	2019/12	2020/1	2020/2	19Q3	19Q4
福井県	0.16	0.16	0.16	0.20	0.16
三重県	0.71	0.69	0.68	0.80	0.71
滋賀県	0.63	0.59	0.60	0.70	0.63
京都府	28.43	27.15	26.09	29.90	28.43
大阪府	39.52	38.56	37.93	40.80	39.52
兵庫県	4.75	4.99	5.35	5.60	4.75
奈良県	13.76	13.39	13.37	13.80	13.76
和歌山県	1.15	1.04	0.91	1.10	1.15
鳥取県	0.33	0.34	0.37	0.40	0.33
徳島県	0.25	0.23	0.22	0.30	0.25
■運輸局ベース	2019/12	2020/1	2020/2	19Q3	19Q4
北海道	7.48	8.03	8.87	7.60	7.48
関東	51.10	49.50	48.81	53.30	51.10
中部	15.15	14.68	14.32	15.30	15.15
近畿	42.36	41.30	40.54	43.60	42.36
九州	7.49	8.19	9.26	8.50	7.49

図6 月次訪問率の早期推計



注: シャドウは実績値

表3 2020年2月 訪日外客数 (JNTO 推計値)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2020年	伸率(%)	2019年	2020年	伸率(%)
	2月	2月		1-2月	1-2月	
総数	2,604,322	1,085,100	-58.3	5,293,661	3,746,100	-29.2
総数(韓国・その他除く)	1,816,193	880,100	-51.5	3,646,945	3,132,400	-14.1
韓国	715,804	143,900	-79.9	1,495,187	460,700	-69.2
中国	723,617	87,200	-87.9	1,478,038	1,012,000	-31.5
台湾	399,829	220,400	-44.9	787,327	681,600	-13.4
香港	179,324	115,600	-35.5	333,616	335,000	0.4
タイ	107,845	98,000	-9.1	200,494	210,500	5.0
シンガポール	26,102	19,600	-24.9	48,778	49,800	2.1
マレーシア	36,660	26,600	-27.4	68,059	71,400	4.9
インドネシア	24,622	24,700	0.3	57,099	62,200	8.9
フィリピン	35,170	39,700	12.9	71,157	93,300	31.1
ベトナム	39,377	39,900	1.3	74,752	90,300	20.8
インド	9,071	6,600	-27.2	21,539	20,500	-4.8
豪州	47,658	48,500	1.8	128,721	133,800	3.9
米国	92,669	73,400	-20.8	195,860	190,700	-2.6
カナダ	23,883	17,600	-26.3	46,176	46,500	0.7
英国	23,554	18,600	-21.0	45,108	42,900	-4.9
フランス	17,397	17,100	-1.7	32,717	33,600	2.7
ドイツ	13,384	10,900	-18.6	24,742	22,100	-10.7
イタリア	5,897	4,700	-20.3	11,930	11,600	-2.8
ロシア	5,601	6,700	19.6	11,917	15,100	26.7
スペイン	4,533	4,300	-5.1	8,915	9,500	6.6
その他	72,325	61,100	-15.5	151,529	153,000	1.0

出所: 日本政府観光局(JNTO)、2020年3月19日付より筆者加工